

八千代市立郷土博物館

館 報

No. 3 1



(令和6年度)

八千代市立郷土博物館

はじめに

このたび、「八千代市立郷土博物館館報No.31（令和6年度）」を刊行するはこびとなり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスが令和5年から5類感染症に移行したことにより、一般の来館者や講座参加者、中学校の職場体験、小学校の来館見学、出前授業が昨年度より活発になるとともに、博物館利用者も少しずつ増加しています。

そのような中、近年、博物館を取り巻く環境が厳しくなっている状況がみられ、千葉県内においても他博物館等の閉館や移転が発生するなど、歴史・文化・芸術を取り巻く環境が変わりつつあることを特に感じます。

当館においても企画展や様々な講座を実施することにより、広く利用者に見学や体験機会を提供しておりますが、それと同時に博物館で収蔵している資料の整理や調査を積極的に実施しております。特に収蔵品資料の整理については、企画展や講座の企画立案の基本となる部分であることから、民俗資料をはじめとして考古資料や古文書の整理を現在も進めております。

今後についても、博物館の求められる役割が変化していく中でも、地域における資料の重要性は変わらないことから、それらの収集、保存、調査、研究を引き続き進め、今後も地域文化の一端を担う博物館をめざし、努力してまいります。

令和7年7月吉日
八千代市立郷土博物館

八千代市立郷土博物館基本的運営方針（八千代市立郷土博物館の使命）

平成27年4月 1日制定

平成31年3月18日改定

- 1 地域に伝えられてきた、歴史資料、考古資料、有形・無形の民俗資料、動植物の標本類等自然関係資料を保存・継承するとともに調査・研究を行い、市民への効果的活用を図る。
- 2 教育、学術及び文化の発展に寄与するため、子どもから高齢者に至るまでを対象とした展示・講座等多様な博物館事業を開催する。
- 3 文化・学習活動の拠点としての博物館の構築により、多様な博物館利用を促進し、地域の活性化に寄与する。
- 4 各学校との連携を密にし、学校教育の効果的運営を支援するとともに、児童・生徒の興味及び探究心を育み、共生社会の一員としての認識を深めることに寄与する。
- 5 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等様々な分野との連携が期待されている状況を踏まえ、これらに応える市民に対する諸事業の開催を図る。

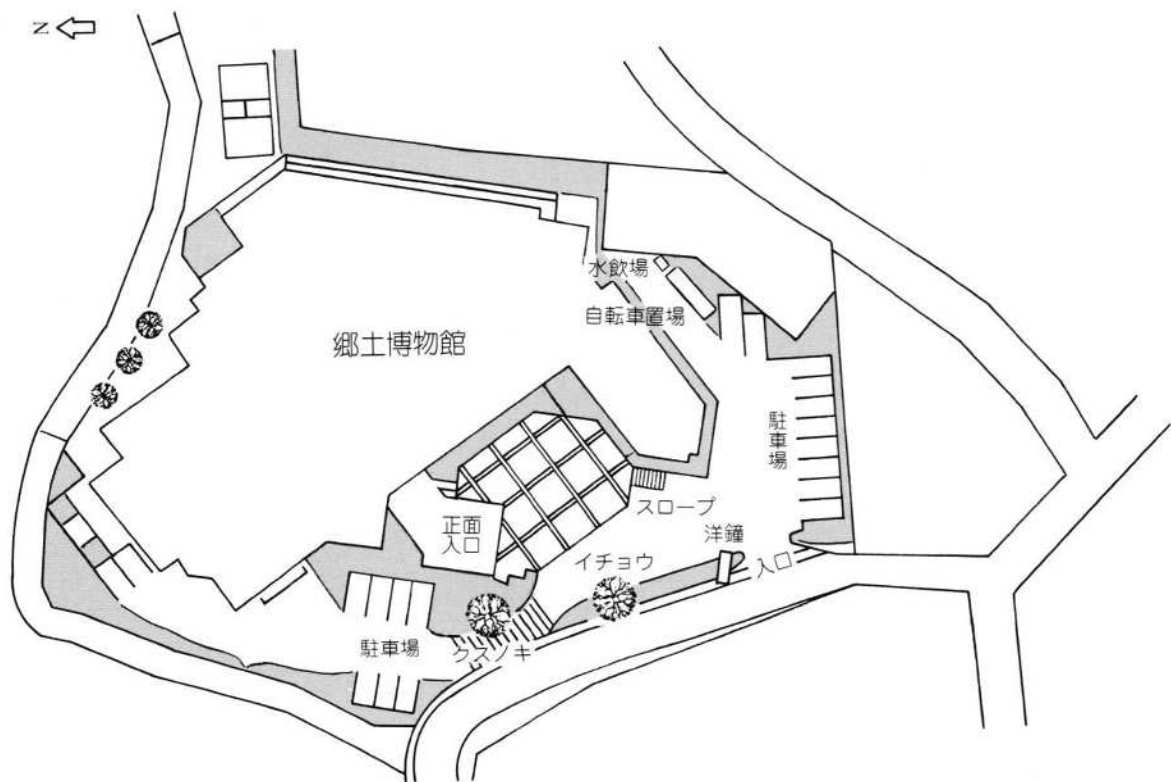
（表紙写真：左 出前授業 右 第1回やち博講座）

目 次

はじめに	
I 沿革	1
II 令和6年度組織	2
III 施設概要	3
IV 令和6年度予算	3
V 博物館事業	3
1 資料	4
(1) 収蔵資料	
(2) 資料収集	
(3) 資料貸与等	
(4) 資料保存	
(5) 資料の修補	
(6) 図書資料	
2 調査・研究	14
3 展示	15
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
(3) 特別展示	
(4) ロビー展示	
4 学校連携	18
(1) 小中学校対応	
(2) 博物館教育への協力	
5 市民学習の支援	19
(1) 企画展関連事業	
(2) やちよの民俗行事	
(3) 古文書講座	
(4) やち博講座	
(5) 博物館上映会	
(6) 観察会	
(7) 体験講座	
(8) 子ども講座	
(9) 地域における子どもたちの学習支援	
(10) 同好会の育成	
(11) 講師派遣	
(12) 学習室等の施設利用	
(13) 刊行物の作成・配布	
6 地域協働	23
(1) 大学との連携	
(2) 関係機関との連携	
7 広報	24
8 博物館協議会	24
9 令和6年度のまとめ（自己評価）	24

VI 付編 市指定文化財 長福寺の板碑一括調査票	25
--------------------------	----

統計資料・関連条例等	33
1 博物館利用者数の推移	33
2 令和6年度 団体・個人別利用者数	33
3 令和6年度 博物館利用者アンケート集計結果	34
4 令和6年度 企画展アンケート集計結果	35
5 条例・規則	37
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例	
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則	
○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程	
○八千代市立郷土博物館協議会運営規則	



郷土博物館敷地内施設配置

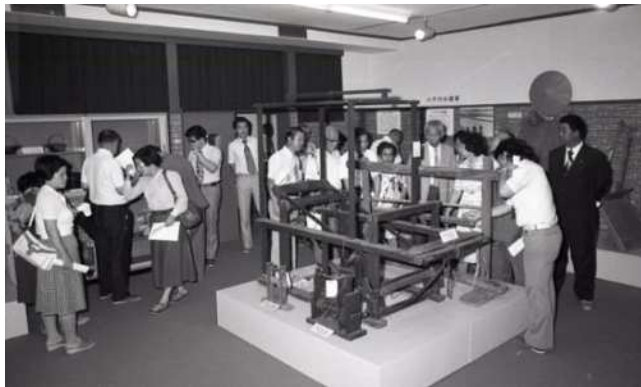
I 沿革

【八千代市郷土資料室】以前

明治6年	正覚院に旧村上小学校開設
明治40年	当地に旧村上小学校移転
昭和49年5月	村上小学校、村上団地内に移転

【八千代市郷土資料室】

昭和52年7月15日	郷土資料室（民具室）（1階2室）開設
昭和54年8月15日	考古資料室（2階1室）開設
昭和59年6月3日	民具第2室オープン



八千代市郷土資料室展示風景

【八千代市歴史民俗資料館】

平成5年5月15日 開館



「土器づくり教室」

【八千代市立郷土博物館】

平成12年4月

八千代市歴史民俗資料館から名称変更

平成12年5月

登録博物館に認定される

平成24年9月1日

八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正し、国民の祝日に関する法律に規定する休日を開館日とする

平成24年11月11日

博物館利用者30万人を達成

平成25年5月15日 開館20年

平成28年3月 平成27年度利用者数が過去最多の29,290人達成

平成28年6月19日 博物館利用者40万人を達成

平成31年4月1日 組織改正により、生涯学習部が教育委員会に移管されたことに伴い、「郷土博物館」は教育総務課から文化・スポーツ課の所管となる

令和元年10月12日～13日午後1時まで 台風19号の接近・通過のため臨時休館

令和2年2月29日～3月31日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館

令和2年4月1日～5月31日 臨時休館延長

令和2年12月22日 博物館利用者50万人を達成



博物館外観

Ⅱ 令和6年度組織

1 職員（令和7年3月31日時点）

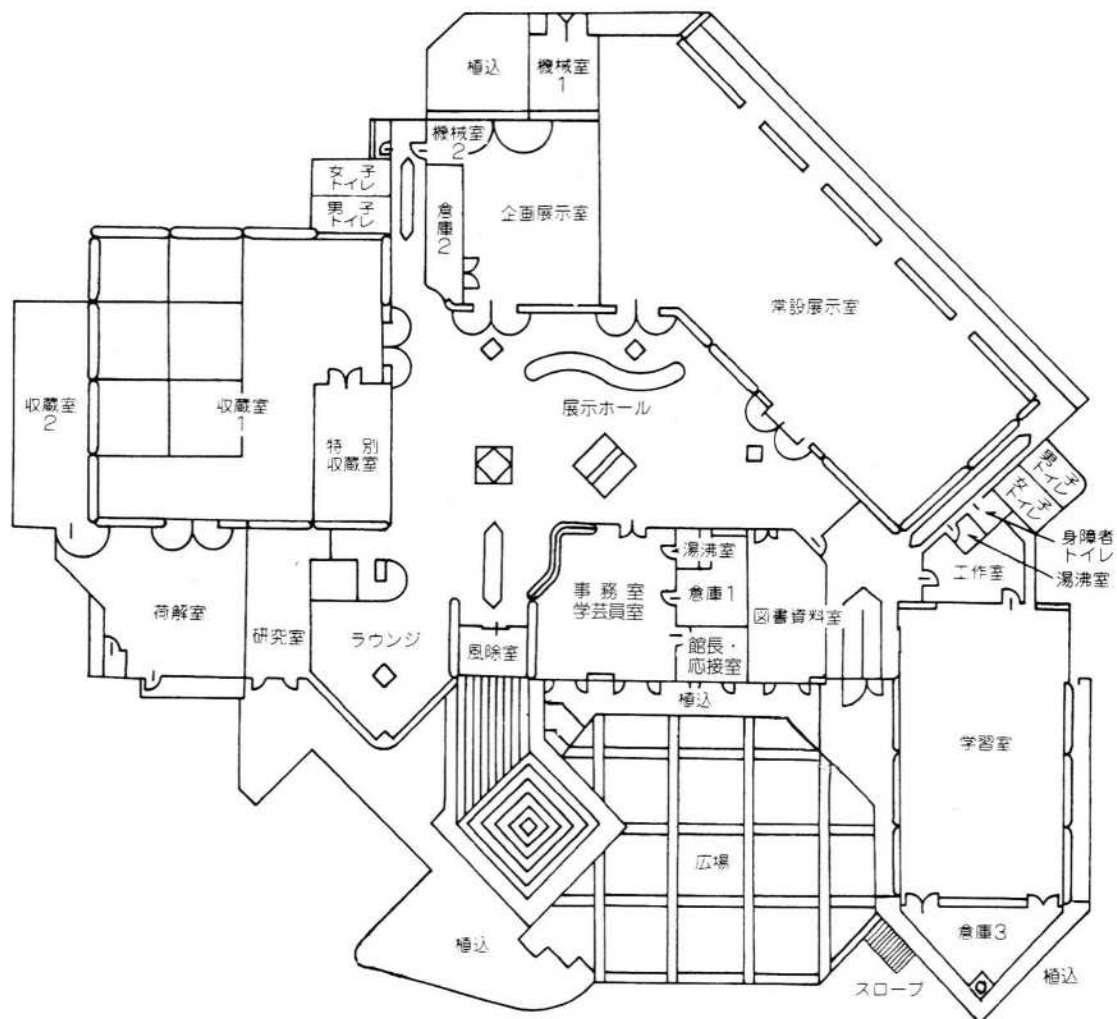
八千代市教育委員会	教 育 長	嶺岸 秀一
	教育次長	伊藤 栄治（社会教育担当）
文化・スポーツ課	課 長	大野 光弘
八千代市立郷土博物館	館 長	中村 元重
職 員 主 査	作左部 孝	（庶務担当）文化伝承館兼務
主 査 補	安藤 茂和	（庶務担当）文化伝承館兼務
主 査 補	勝見 俊介	（学芸担当）文化伝承館兼務
主任主事	田口 定夫	（庶務担当）文化伝承館兼務
主任主事	常松 成人	（学芸担当）文化伝承館兼務
学 芸 員	吉田 赳	（学芸担当）文化伝承館兼務
資料調査研究員	野中 政博	（近世・古文書担当・会計年度任用職員）
学芸補助員	片岡 良美	（古文書担当・会計年度任用職員）
博物館資料整理員	藤代 晴美	（会計年度任用職員）
博物館資料整理員	箕輪 幸恵	（会計年度任用職員）
博物館資料整理員	佐藤 智恵子	（会計年度任用職員）
博物館資料整理員	池田 孝子	（会計年度任用職員）

2 八千代市立郷土博物館協議会委員（敬称略）

八千代市立郷土博物館協議会は、「八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例（平成12年八千代市条例第6号）第8条第1項の規定に基づき設置している。

委 員	久留島 浩	学識経験者（人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 名誉教授）
委 員	斎木 健一	学識経験者（千葉県立中央博物館 主任上席研究員）
委 員	小林 弘治	学識経験者（学校法人 聖書学園 千葉英和高等学校 非常勤講師）
委 員	目黒 英樹	学校教育関係者（八千代市立勝田台南小学校 校長）
委 員	八巻 憲一	社会教育関係者（八千代市子ども会育成連絡協議会 会長）

Ⅲ 施設概要



八千代市立郷土博物館 館内配置図

Ⅳ 令和6年度予算

郷土博物館運営管理事業 11,315千円

(1) 郷土博物館運営事業 3,025千円

博物館事業の実施に係る、博物館資料整理員等の賃金、外部講師の謝金、ポスター・チラシ等の印刷、運営用消耗品の購入、収蔵資料管理システムの借上等

(2) 郷土博物館維持管理事業 8,290千円

機械警備・電気工作物保安管理・消防用設備保守点検・冷暖房設備保守点検・清掃・環境調査の業務委託、ガス空調機修繕、木製通路改修工事、高圧ケーブル更新工事等

Ⅴ 博物館事業

資料の収集・保管・保存、市内民俗行事・資料に係る調査・研究を基礎として、『新川流域の自然と人々とのかかわりの変遷』をテーマとした常設展示のほか、市民の求める内容を検討し、企画展示、特別展示、講演会、講座、体験教室等の各種事業を開催した。

1 資料

(1) 収蔵資料

八千代市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・
絵図・民俗資料等の資料類を収集し保管・管理し、後世へ
の継承を図るとともに、これらの調査・研究成果を、常設
展示及び企画展示への活用等により市民へ公開する。

(2) 資料収集

個人的に保管されてきた貴重な資料類の散逸・毀損を防
止するとともに、適正な保管・管理を行い、展示・研究等
に活用するために収集する。

令和6年度収集数：

合計 26件 288点

(登録資料数)

種 別	総点数
古文書	34,635
自然資料	2,968
民俗資料	6,765
考古資料	896
歴史資料	117
写真資料	1,263
地図資料	519
拓本	77
映像	8
その他	4
合計	47,252

令和6年度収集資料一覧

	資料名	点数	区分	寄贈者・ 寄託者	受領日
1	伝言留守番ファクシミリ（シャープ DA-7000）	1	寄贈	個人	4月16日
	携帯電話（DOCOMO FJ531D ムーバ）	1			
	給食用の皿（昭和40年代村上小学校）	1			
	写真（昭和40～42年度の村上小学校の児童）	8			
2	カシオ ポケットベル	1	寄贈	個人	4月16日
3	アップルコンピューター（PC, FD, マウス）	3	寄贈	個人	4月16日
	ベビードレス, ベビーケープ	2			
	剣道着（袴, 垂れネーム）	2			
4	腰巻き	1	寄贈	個人	6月5日
	ピッケル	1			
5	ごみ箱（屋外用）	1	寄贈	個人	6月5日
6	織機	1	寄贈	個人	6月30日
	整経台	1			
7	成田講中看板（成田山内陣十六講）	1	寄贈	個人	8月15日
	将棋盤（天保十二年銘）	1			
8	歌碑・句碑拓本	30	寄贈	個人	9月21日
	『俳諧鴨東新誌』127号の一部	1			
9	八千代市域の石造文化財調査カード（2023年真木 野の石造物）	1	寄贈	個人	9月21日
10	八千代市内の有刻板碑集成	1	寄贈	個人	9月21日
	同 CD-ROM	1			
11	八千代市域の板碑拓本	13	寄贈	個人	9月21日
12	押絵羽子板	1	寄贈	個人	9月21日
13	ウエディングキャンドル	1	寄贈	個人	9月21日
14	自動電化鋺	1	寄贈	個人	9月21日
	ドジョウすくいセット	1			
15	百円紙幣	1	寄贈	個人	10月1日
16	ぽっくり下駄	1	寄贈	個人	10月23日
	戦時債権	4			
17	郵便局の写真	18	寄贈	個人	10月30日

18	加茂家資料 古文書類	158	寄贈	個人	11月22日
	書籍	1			
	衣類	4			
19	陶製大甕	2	寄贈	個人	1月5日
20	弥生土器（壺）	1	寄託	個人	1月5日
21	陶器製湯たんぽ	1	寄贈	個人	1月25日
22	脇差	1	寄贈	個人	1月28日
23	被布	1	寄贈	個人	1月28日
24	天保期印旛沼堀割絵図	1	寄贈	個人	3月9日
25	大澤家資料 堀江村寶城院授与掛軸	3	寄贈	個人	3月9日
	天保九年立身流巻物，包紙，護符，薬包	10			
26	竹ベラ，布袋	4	寄贈	個人	3月18日

(3) 資料貸与等

収蔵する資料類を，学校授業の支援や関係機関の事業充実等のために，貸与・提供等の特別利用を受入れた。

合計 31件 143点

令和6年度資料等特別利用申請一覧

No.	許可日	資料名	点数	利用内容	利用目的	利用者
1	4. 16	印旛沼出現怪獣の想像模型，「天神七代地神五代大日本史年代治乱記附年代記」写真データ	2	撮影・掲載	「図書館教育ニュース」2024年6月18日号	株式会社少年写真新聞社
2	4. 26	浅野繁家文書目録	1	閲覧・複写	令和6年度「旧村小池の総合研究」	八千代市郷土歴史研究会
3	5. 4	常設展示「住宅団地と市民の足」コーナーの写真	6	撮影・掲載	卒業論文執筆	個人
4	5. 10	ロビー展示「当世具足」ほか	13	閲覧・撮影・掲載・放映	SNS・ブログ等	個人
5	5. 18	鉄鉢形土器（白幡前遺跡，殿内遺跡b地点）	2	閲覧・撮影・実測・掲載	修士論文執筆	個人
6	5. 21	権現後遺跡出土石器	10	掲載・借用・実物展示	令和6年度出土遺物公開事業	(公財)千葉県教育振興財団
7	5. 23	羯鼓写真データ	2	掲載	ホームページ	七百餘所神社
8	5. 24	神野芝山4号墳出土石枕	1	撮影	修士論文執筆	個人
9	6. 7	大江間遺跡丸木舟（復元）写真データ	1	掲載・借用	『縄文文明：世界を驚嘆させる社会（仮）』	個人
10	6. 25	歴史時代2群Aグループ全景『八千代市白幡前遺跡』図版編 図版92 写真データ	1	画像展示	総合展示第1展示室「古代国家と列島世界」タッチパネルコンテンツ	国立歴史民俗博物館
11	7. 26	北海道遺跡 D146 号遺構出土土師器坏（墨書土器）	1	掲載	「ちいき新聞」	株式会社地域新聞社
12	8. 27	八千代台西小学校周辺航空写真データ	2	借用	授業	八千代台西小学校
13	9. 1	「天保十四年麦丸村絵図」写真データ	1	掲載	「東京新聞」朝刊・千葉版情報コーナー	東京新聞千葉支局

14	9. 13	印旛沼出現怪獣想像模型, 年代記, パネル(染谷源右衛門, 怪獣出現の場所, 怪獣出現の話, 上空から見た大和田排水機場)	6	掲載	「わたしたちの八千代市」	教育委員会指導課
15	9. 29	浅野敏家文書コピー (史料 10・29・34 号), 同「五人組御仕置帳」	4	閲覧・複写・撮影	令和 6 年度「旧村小池の総合研究」	八千代市郷土歴史研究会
16	10. 3	写真データ (八千代台テラスハウス・建設前の八千代台駅周辺ほか)	4	借用・放映	NHK「時空鉄道」	株式会社イーストフィルム
17	10. 18	高津地区に関わる写真データ	16	画像展示	校内掲示	南高津小学校
18	11. 8	鉄斧(権現後遺跡, 井戸向遺跡, 北海道遺跡)	4	撮影・実測・掲載	財団 50 周年記念論文集にて発表	(公財)千葉県教育振興財団
19	11. 8	ツジギリのワラヘビ	1	撮影・掲載	会報「シルバーやちよ」	シルバー人材センター
20	11. 8	板碑の拓本 T8・T68	2	複写・展示	八千代市民文化祭「ふるさとの歴史展」	八千代市郷土歴史研究会
21	11. 24	展示パネル(「水とともに一睦村の歴史ー」, 市域のうつりかわり, 工業団地の造成, 工業団地の進出, 工業各社)	5	撮影・掲載	発表会, 授業	個人
22	12. 19	大江間遺跡丸木舟(復元)写真データ	1	掲載	進学会『2024 年度第 5 回北海道学力コンクール中 3 社会』	株式会社悠工房
23	1. 31	井戸向遺跡出土銭貨	13	借用・実物展示	展示	文化・スポーツ課文化財班
24	2. 23	沖塚遺跡出土土器ほか	30	閲覧	令和 7 年度出土遺物公開事業	(公財)千葉県教育振興財団
25	2. 26	「下総印旛沼御普請堀割絵図」写真データ	1	画像データの借用	日本 BS 放送『偉人・敗北からの教訓 田沼意次』	株式会社テレバック
26	3. 4	権現後遺跡 D007 遺構出土灰釉段皿	1	借用・実物展示	千葉県立房総のむら風土記の丘資料館常設展示	(公財)千葉県教育振興財団
27	3. 20	屠龍の機体の一部	7	閲覧・撮影・画像展示	平和学習での活用。	個人
28	3. 25	京成大和田駅写真データ	2	掲載 (WEB サイト PDF 版)	千葉県立房総のむら令和 5 年度トピックス展展示解説書	(公財)千葉県教育振興財団
29	3. 28	『八千代市村上遺跡群図版編』村上遺跡全景空撮写真データ	1	画像展示	総合展示第 1 展示室「古代国家と列島世界」タッチパネルコンテンツ	国立歴史民俗博物館
30	3. 28	正覚院木造釈迦如来立像模刻像	1	借用・実物展示	千葉県文化財指定 65 周年を機に「花祭り」で展示	正覚院花祭り実行委員会
31	3. 28	洗濯機の写真データ	1	掲載	展示資料「デジタルともしび」	千葉市立郷土博物館

(4) 資料保存

資料を虫害等から防ぐため、環境調査及び状況への対応を行った。

3回の環境調査において、館内に昆虫等捕獲用トラップを設置し、一定期間経過後回収した結果、資料加害害虫等昆虫類の発生・侵入が若干確認されたため、その発生原因や侵入経路について、清掃等の対策を講じた。

第1回環境調査

期間 令和6年4月19日（金）～令和6年6月27日（木）（69日間）

使用資機材・数量

歩行性昆虫類捕獲用資機材（シートトラップ） 30か所

文化財害虫捕獲用資機材（フェロモントラップ） 4か所

第2回環境調査

期間 令和6年6月27日（木）～8月29日（木）（63日間）

使用資機材・数量 第1回と同じ

第3回環境調査

期間 令和6年8月29日（木）～10月23日（水）（55日間）

使用資機材・数量 第2回と同じ

(5) 資料の修補

当館には約3万点の古文書等が保管されているが、虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではなく、致命的な状態となることが予想される資料も少なくない。

このことから、将来へ古文書等を伝えてゆくため、定期的に修補を行っている。

また、古文書修補技術向上のため元宮内庁書陵部修補師長の横山謙次氏を講師として研修を行った。

（期日：8月23日（金）、12月20日（金）、3月18日（火））

令和6年度実施回数 36回



古文書修補
クリーニング作業

(6) 図書資料

関係機関等から寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等の博物館事業への活用や、市民の学習活動等に利用している。

令和6年度末所蔵数 18,388冊

令和6年度受入数 260冊（同一本 複数冊の受入あり）

令和6年度受贈図書一覧

寄贈者名(敬称略)	資料名称
朝霞市博物館	朝霞市博物館研究紀要 第19号
旭市教育委員会	大原幽学記念館報告第10号
	椿海干拓350周年記念 干潟八万石物語
我孫子市教育委員会	我孫子市文化財報告第22集 楚人冠と芸術家の交流
板橋区教育委員会	歴史民俗研究 第22回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集
	“工都”キャラバン Ver.3 科学研究 コスミック！線つむぐ理研板橋分所
	紅梅小学校創立150周年記念展 そのかぐわしき名をあげよ ～徳丸村の学び舎から～
	江戸手描友禅 寺澤森秋 一時代を彩る染と技一
	樺太紀行 ～徳丸の人類学者と樺太の北方諸民族～

市原市教育委員会	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 61 集 市原市島原遺跡 (第 2 次)
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 62 集 市原市能満遺跡群・能満城跡
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 63 集 市原市姉崎台遺跡 (第 2 地点)
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 64 集 令和 5 年度 市原市内遺跡発掘調査報告
市立市川自然博物館	市立市川自然博物館 令和 2 年度 年報 No. 32
	市立市川自然博物館 令和 3 年度 年報 No. 33
	市立市川自然博物館 令和 4 年度 年報 No. 34
市立市川歴史博物館	令和 4 年度 市立市川歴史博物館館報
稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第 18 号
	稲敷市立歴史民俗資料館調査報告 第 8 集
	稲敷の仏像・寺院調査報告④
伊能忠敬記念館	川瀬巴水 追憶の情景 ～巴水が描いた茨城県～
伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第 26 号 令和 5 年度
(株)イビソク	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 105[TM95] 筑前福岡藩黒田家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅱ
岩宿博物館	岩宿博物館紀要 岩宿 第 5 号
	相澤忠洋と古代瓦研究
	岩澤正作 ーカケラ先生と呼ばれた考古学者ー
	岩宿フォーラム 2024/シンポジウム 「ペン先形ナイフ」の再検討 予稿集
印西市教育委員会	令和 4 年度 印西市内遺跡発掘調査報告書
印西市立印旛歴史民俗資料館	印西市立印旛歴史民俗資料館 研究紀要 第 6 号 年報 (令和 4 年度)
印西市立木下交流の杜歴史資料センター	印西市史 通史編 4 近現代
(公財)印旛沼環境基金	印旛沼白書 令和 5・6 年版
江戸川大学 博物館学芸員資格取得養成課程	江戸川大学 博物館学芸員資格取得養成課程年報 Vol. 15 (2023 年度)
奥松島縄文村歴史資料館	縄文を語る! (講演会記録集)
	蝦夷と柵子 (講演会記録集)
小山市立博物館	小山市立博物館報 第 41 号 令和 5 年度版
柏市柏インター西土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査共同企業体	柏市埋蔵文化財調査報告書 103 柏市柏インター西土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査報告書 4 ー出山遺跡 (第 7 次) ー 第Ⅰ分冊 (本文編 1) 第Ⅱ分冊 (本文編 2) 第Ⅲ分冊 (写真図版編)
柏市柏インター西土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査共同企業体 代表者 (株)パスコ千葉支店	柏市埋蔵文化財調査報告書 113 柏市柏インター西土地区画整理事業 埋葬文化財発掘調査報告書 5 ー出山遺跡 (第 12 次) ー
加曽利貝塚土器づくり同好会	縄文の炎 加曽利貝塚土器づくり同好会 創立 50 周年記念号 (No. 9)
葛飾区郷土と天文の博物館	徳川三代と青戸御殿
神奈川大学日本常民文化研究所	民具マンスリー 第 57 巻 1 号 2024. 4
	民具マンスリー 第 57 巻 2 号 2024. 5
	民具マンスリー 第 57 巻 3 号 2024. 6
	民具マンスリー 第 57 巻 4 号 2024. 7
	民具マンスリー 第 57 巻 5 号 2024. 8
	民具マンスリー 第 57 巻 6 号 2024. 9
	民具マンスリー 第 57 巻 7 号 2024. 10

	民具マンスリー 第57巻8号 2024.11
	民具マンスリー 第57巻9号 2024.12
	民具マンスリー 第57巻10号 2025.1
	民具マンスリー 第57巻11号 2025.2
	民具マンスリー 第57巻12号 2025.3
	歴史と民俗 41 民具研究と考古学
鎌ケ谷市教育委員会	鎌ケ谷市埋蔵文化財調査報告 第41集 令和5年度 鎌ケ谷市内遺跡発掘調査報告書
	鎌ケ谷の小学校150年史
	鎌ケ谷市郷土資料館年報 第37号 [令和5年度]
神川町教育委員会	神川町埋蔵文化財調査報告第20集 梶原遺跡第7次
木更津市教育委員会	木更津市史研究 第6号
	木更津市史研究 第7号
	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅶ ー塚原遺跡Ⅲ・真武根陣屋跡Ⅰー
	千葉県木更津市 千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅷ ー塚原古墳群ー
	木更津市文化財調査集報29 埋蔵文化財の発掘調査報告 新指定文化財調査報告
君津市教育委員会	令和5年度 千葉県 君津市内遺跡発掘調査報告書 天神台遺跡Ⅷ 富吉遺跡Ⅶ
	君津市 外箕輪遺跡Ⅶ 宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	君津市 久留里城跡3 倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	君津市 富吉遺跡Ⅲ みふねの里保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
君津市立久留里城址資料館	長板中形 松原伸生の伝統と展開
	君津市立久留里城址資料館年報44 令和4年度
	関東無双ノ大将 里見義亮 ー久留里城を拠点とした戦国の雄ー
	君津市立久留里城址資料館年報45 令和5年度
(有)原史文化研究所	千葉県香取郡神崎町 辺原・舟塚原遺跡
國學院大學博物館	有栖川宮家・高松宮家ゆかりの新収蔵品
	論語 for Beginners 『論語』と格闘した江戸時代
	三嶋の神のモノガタリ ー焼き出された伊豆の島々ー
国際文化財(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告103 [TM121・163] 芝田町四丁目町屋跡遺跡 豊後森藩久留島家・丹波亀山藩松平家屋敷跡遺跡 発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	歴博色尽くし いろ・つや・かたちのアンソロジー
	REKIHAKU 蔵書をヒラク
	国立歴史民俗博物館 令和6(2024)年度 要覧
	REKIHAKU カメラ越しの世界 写真を正しく読み取るためのリテラシー
	歴史の未来 ー過去を伝えるひと・もの・データー
	REKIHAKU 3Dからみえる研究 研究はどう変わるか?
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要 第7号 (令和4年度)
埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館 紀要 24号
埼玉県立歴史と民俗の博物館	鉢形城主 北条氏邦
	博物館ブックレット第八集 お金を出して!ーお金のふしぎ探検隊ー
坂の上の雲ミュージアム	坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第46号 2024年春号
	坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第47号 2024年夏号
佐倉市魅力推進部文化課	令和4年度 佐倉市埋蔵文化財発掘調査報告書

	千葉県佐倉市 佐倉城跡（三ノ丸 浅間社脇）発掘調査報告書 -急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査-
	千葉県佐倉市 六崎外出遺跡（第6次）発掘調査報告書 -不特定遺跡発掘調査助成事業-
佐倉市立美術館	陶芸家 和田的展（AKIRA WADA）
幸手市郷土資料館	去って小学校の歴史 -資料が受けつぐ明治・大正・昭和の姿-
里見氏研究会	里見氏研究 第3号
寒川文書館	寒川町史研究 第35号 2024
酒々井町教育委員会	国指定史跡本佐倉城跡整備事業にかかる発掘調査報告書(4) 千葉県印旛郡酒々井町 本佐倉城跡発掘調査報告書V
実践女子大学 博物館学課程	MUSEOLOGY 実践女子大学 博物館学課程 第43号
芝山町教育委員会	芝山町埋蔵文化財調査報告書 第16集 小堤遺跡 大里田辺台古墳群（宮田278-3地点） -芝山町道建設及び個人住宅建設に伴う埋蔵文化財報告書-
淑徳大学アーカイブズ	福祉の先覚者 長谷川良信 -良信先生の夢と挑戦-
首都圏形成史研究会	年報 首都圏史研究 第13号
白井市教育委員会	白井市埋蔵文化財調査集報 -令和3・4年度-
白井市郷土史の会	たいわ -語り伝える白井の歴史- No. 39号
白井市郷土資料館	小金牧と白井 白井市郷土資料館年報 21号 -令和5年度-
すみだ郷土文化資料館	すみだ郷土文化資料館 年報 第10号 令和5年度 すみだ郷土文化資料館 研究紀要 第10号 令和5年度
匝瑳市教育委員会	令和4年度不特定遺跡発掘調査事業 千葉県匝瑳市 大倉台遺跡 -太陽光発電施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-
袖ヶ浦市教育委員会	令和5年度 千葉県 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書 史跡山野貝塚整備基本計画
袖ヶ浦市郷土博物館	出羽三山と袖ヶ浦の山岳信仰 重要無形民俗文化財上総堀りの技術伝承用記録誌 上総堀りの技術を未来へ
大成エンジニアリング(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 99[TM32・33・74・174・182] 我善坊谷遺跡発掘調査報告書 第1分冊 概要・大名屋敷跡・旗本屋敷跡編 第2分冊 組屋敷跡編 第3分冊 大下水(下水溝)・門前町屋跡編 第4分冊 寺院跡・中世以前編 第5分冊 自然化学分析・文献調査・考察・総括編
(一社)鷹之台カンツリー倶楽部	(社)鷹之台カンツリー倶楽部 50年史
千葉県教育委員会	千葉県内重要古墳詳細分布調査報告書 千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第54集 八街市柳沢牧初番杭野馬土手 -主要地方道富里酒々井線交差点改良工事埋蔵文化財発掘調査報告書2-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第58集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書11 -流山市前平井遺跡(旧石器時代編)-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第55集 銚子市大久保遺跡 -国道126号八木拡幅事業埋蔵文化財発掘調査報告書-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第56集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書10 -流山市後平井中通遺跡(36)~(38)-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第57集 市原市松崎中里遺跡(1)~(3)・(5) -主要地方道市原茂原線磯ヶ谷バイパス道路整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書-
千葉県博物館協会	MUSEUM ちば 第48号 千葉県博物館協会研究紀要

(公財) 千葉県教育振興財団	地中からのメッセージ ー旧石器・縄文・弥生ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 793 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 43 ー横芝光町木戸台遺跡(3)・(7)ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 794 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 44 ー多古町水戸塚ノ後 1 号塚・2 号塚, 多古町長者屋敷遺跡(1)～(3), 成田市・多古町矢作牧野馬除土手, 成田市一坪田入 I 遺跡(1)～(4)ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 795 集 一般国道 51 号(北千葉拡幅)埋蔵文化財調査報告書 ー四街道市平台遺跡ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 796 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 45 ー多古町加茂台遺跡ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 797 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 46 ー多古町千田の台遺跡(2)ー
	千葉県教育振興財団調査報告 第 798 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 47 ー芝山町殿部田古墳群 15 号墳・19 号墳・8 号墳ー
	千葉県教育振興財団 文化財センター 年報 No. 49 ー令和 5 年度ー
	研究連絡誌 第 89 号
	研究連絡誌 第 90 号
	50 年のあゆみ 公益財団法人千葉県教育振興財団設立 50 周年記念誌
	地中からのメッセージ ー旧石器・縄文・弥生ー 講演会発表要旨
(公財) 千葉市教育振興財団	千葉市砂子遺跡(第 4 次) ー宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書ー 貝と人 縄文時代から続く貝と人のかかわりを探る
千葉県文書館	海を渡った房総の人びと
	千葉県の文書館 第 30 号
	収蔵文書目録第三十八集 市原市分目 岡田(利)家文書目録 6
千葉県立関宿城博物館	赤松宗旦と利根川図志
	千葉県立関宿城博物館 研究報告 第 29 号
千葉県立中央博物館	映像解説書 海をまとう ー万祝染のわざー
	千葉県立中央博物館研究報告 第 17 巻 第 1 号
	大多喜 台古墳群の鏡がうつし出す時代
	万祝 博覧会 ー海をまとうー
千葉県立美術館	開巻 50 周年記念 千葉県立美術館コレクション 100 選
	浅井忠, あちこちに行く ーむすばれる人, つながる時代ー
千葉県立房総のむら	風土記の丘資料館 常設展示図録
	房総の牧
千葉市埋蔵文化財センター	埋蔵文化財調査(市内遺跡)報告書 ー令和 5 年度ー
	千葉市平和公園遺跡群Ⅲ ー木戸作遺跡・内野遺跡・多部田貝塚他ー
	特別史跡 加曽利貝塚 第14次調査報告書
	千葉市和唐地遺跡 ー宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書ー
	千葉市地蔵作遺跡(第 2 次) ー店舗建設に伴う発掘調査報告書ー
千葉市立加曽利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第 50 号
千葉市立郷土博物館	千葉いまむかし 第 37 号
	商人たちの選択 ～千葉を生きた商家の近世・近現代～
東京家政学院生活文化博物館	日常食と饗応 ー遊郭・花街の形成とその暮らしー
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像資料解析センター通信 第 104 号
	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 105 号
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第 15 号

東京都三多摩公立博物館協議会	東京都三多摩公立博物館協議会会報 ミュージアム多摩 No. 45
	東京都三多摩公立博物館協議会会報 ミュージアム多摩 No. 46 ミュージアム・アーカイブスと普及活動
十日町市博物館	十日町市博物館 年報 第10号
豊島区立郷土資料館	生活と文化 豊島区立郷土資料館研究紀要 第33号
富里市教育委員会	令和4年度 富里市内遺跡発掘調査報告書
	令和5年度 富里市内遺跡発掘調査報告書 内野牧中木戸・北大溜袋 野馬土手(第4次) 行人田遺跡
取手市埋蔵文化財センター	史実と伝説のはざま 平将門 源頼政 大鹿城をめぐる合戦 佐倉惣 五郎
	近世を掘る ー地下からわかる取手宿ー
長野原町教育委員会	長野原町埋蔵文化財調査報告 第53集 町内遺跡24 ー令和5年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書ー
	長野原町やんば天明泥流ミュージアム 年報 第3号 令和5年度事 業報告
流山市立博物館	流山市史研究 第25号
	流山市立博物館 年報 No.46 令和5年度
流山市教育委員会	流山市埋蔵文化財調査報告 Vol.67 流山市野々下長田遺跡 ー宅地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ー
	流山市埋蔵文化財調査報告 Vol.68
	流山市名都借宮ノ脇遺跡(2次) ー保育所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査ー
成田市教育委員会	成田市史研究 第48号
	成田市の文化財 第55集
	令和4年度 成田市内遺跡発掘調査報告書
(有)日考研茨城	千葉県成田市 宗吾二丁目遺跡Ⅱ ー第2次調査第2地点発掘調査報告書ー
(公財)日本文化財保護協会	(公財)日本文化財保護協会 紀要 第8号
野田市郷土博物館	茂木佐平治邸の百年 醤油醸造家の邸宅から市民会館へ
野田市郷土博物館・市民会館	野田市郷土博物館 市民会館 年報・紀要 第16号 2022年度
野田市史編さん委員会	野田市史研究 第34号 2024
(株)パスコ 環境文化コンサル タント事業部	柏市埋蔵文化財調査報告書114 柏市柏インター西土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査報告書6 ー出山遺跡(第11次)ー
半田市立博物館	半田市立博物館 年報・紀要 令和4年度
平塚市博物館	ひらつかの古道を行く
	自然と文化 平塚市博物館研究報告 第47号(2023年度)
	平塚市博物館年報 第47号(2023年度)
	標本で!植物観察
ふじさんミュージアム	富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書 第6集
	菊田日記⑤ 第二十五番～第二十九番
	富士山叢書第6集 富嶽信仰百景 おふだと絵図にみる富士山信仰
船橋市教育委員会	令和5年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
	千葉県船橋市 東中山台遺跡群 (67)
	千葉県船橋市 東中山台遺跡群 (80)
	千葉県船橋市 上ホン遺跡(11)
	千葉県船橋市 中法伝貝塚(17)
	千葉県船橋市 川ノ上遺跡(9)
	千葉県船橋市 小野田遺跡(2)
船橋市郷土資料館	船橋の食文化

	令和5年度 船橋市郷土資料館年報
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	かえる ～原始の創造とアートの想像～
	変化する縄文の暮らし 船橋の縄文時代後期
	飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第20号
(株)勾玉工房	千葉県香取郡神崎町 町道成田神崎線埋蔵文化財発掘調査報告書 ー堀込1号線・堀込遺跡・植房遺跡ー
町田市立自由民権資料館	紀要 自由民権 37号
松戸市立博物館	松戸市立博物館紀要 第31号
	異形土器 縄文時代の不思議なうつわ
	松戸市立博物館調査報告書8 「こどもミュージアム」展示開発に向けた制作途中報告書
	松戸市立博物館年報 第31号 令和5年度(2023)
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	伊豆沼・内沼研究報告 第18号
明治大学学芸員養成課程	MUSEUM STUDY 35号 明治大学学芸員養成課程紀要
	MUSEOLOGIST 39号 明治大学学芸員養成課程年報
茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市史調査報告書第九集 『茂原市史資料編Ⅰ(原始・古代, 中世考古)』補足資料1
八千代古文書同好会	ふるふみ 第12号 (令和3・4・5年度)
八千代市教育委員会	千葉県八千代市 市内遺跡発掘調査報告書 令和5年度
	千葉県八千代市 椿山遺跡 a地点 ー倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	千葉県八千代市 蛸池台遺跡 b地点 ー集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	千葉県八千代市 新林遺跡 j地点 ー宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
八千代市教育委員会指導課	令和6年度 読書感想文集 第54集 やちよ
八千代市教育委員会文化財班	和名類聚抄郡郷里驛名考證
八千代市郷土歴史研究会	史談八千代 第49号 特集 旧村小池の総合研究
八千代市経済環境部環境政策課	令和6年度(令和5年度実績) 八千代市の環境
横須賀市立自然・人文博物館	横須賀市立 博物館研究報告(人文科学) 第68号
吉川弘文館	日本歴史 第912号 2024年5月号
	日本歴史 第917号 2024年10月号
四街道市教育委員会	令和4年度 四街道市内遺跡発掘調査報告書
	四街道市の歴史 資料編近現代2
立教大学 学校・社会教育講座 学芸員課程	MOUSEION 立教大学博物館研究 第65号
	MOUSEION 立教大学博物館研究 第66・67号
和洋女子大学文化資料館	国府台 27号 和洋女子大学文化資料館・博物館学課程 報告
個人	尋常小學 國語讀本 卷一 複製
	尋常小學 國語讀本 卷二 複製
	尋常小學 國語讀本 卷三 複製
	尋常小學 國語讀本 卷四 複製
	尋常小學 國語讀本 卷五 複製
	尋常小學 國語讀本 卷六 複製
	尋常小學 國語讀本 卷七 複製
	尋常小學 國語讀本 卷八 複製
	尋常小學 國語讀本 卷九 複製
	尋常小學 國語讀本 卷十 複製

尋常小學 國語讀本 卷十一 複製
尋常小學 國語讀本 卷十二 複製
新刻 日本輿地路程全図 (三上知孝氏解説有 書籍の付図カ)
吉橋大師と文化財探訪
小金城主高城氏の研究
東国・里山奥山の石神石仏風土記
仏のかたち 人のすがた 仙台ゆかりの仏像と肖像彫刻
先史考古学論考 石器と先史文化
古代玉作形成史の研究
大和田・萱田町のムラの講の石造物・調査票
下高野のムラの講の石造物・調査表
八千代市の石造物調査カード 麦丸のムラの講に関連する石造物 2016年 萱田の女人講に関連する石造物 2011年
八千代市の石造物調査カード 吉橋のムラの講に関連する石造物 2014～2015年
八千代市の石造物調査カード 2020年 保品の庚申塚の石造物 2022年 神野の石造物 2023年 高津の自衛隊演習場内の石造物
八千代市域の石造文化財調査カード 2023年 真木野の石造物
八千代市内の有刻板碑集成 一覧表及び拓影と翻刻集
写真集 北総の子安さま 里の慈母像を追って

2 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事等について、聞き取り・映像記録の撮影などによる調査を行った。また、市指定文化財「長福寺の板碑一括」の調査を行った。

調査日	行事名	概要
4月7日(日)	正覚院 花祭り	釈迦の誕生を祝う灌仏会にあわせて、千葉県指定文化財の釈迦如来立像が開帳された。
9月1日(日)	七百餘所神社の頭上げ	獅子頭を祀り、嵐除けを祈願する。
9月1日(日)	勝田の獅子舞 市指定無形民俗文化財	水伏と五穀豊穡を祈願し、勝田円福寺と駒形神社で行われる舞。
9月23日(月・祝)	佐山の獅子舞 市指定無形民俗文化財	午前中は熱田神社で、午後は妙福寺で、それぞれ舞が奉納された。
10月9日(水)	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で行われた(例祭)。
10月12日(土)	米本神社大祭	4年に一度開催される、米本神社の大祭。
11月3日(日)	時平神社祭礼	県指定文化財である下総三山の七年祭の中年の祭礼。
1月15日(水)	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で湯立ての神事と神楽が行われた。
1月20日(月)	高津のハツカビシヤ 市指定無形民俗文化財	高津比咩神社で、神事と弓射とオトウケトリが行われた。
2月11日(火・祝)	高津新田のカラスビシヤ 市指定無形民俗文化財	諏訪神社にて神事と弓射が行われ、オトウワタシ(H29年から愛宕神社と統一)が行われた。
9月17日(火) 10月15日(火)	米本浅間講例祭	米本浅間神社の境内で富士講の行者によって十五夜祭、十三夜祭などの例祭が行われた。
2月28日(金)～ 3月28日(金)	長福寺の板碑一括 市指定文化財	全資料を借用し、博物館において採拓・撮影等の調査を行った。本誌「VI付編」参照。

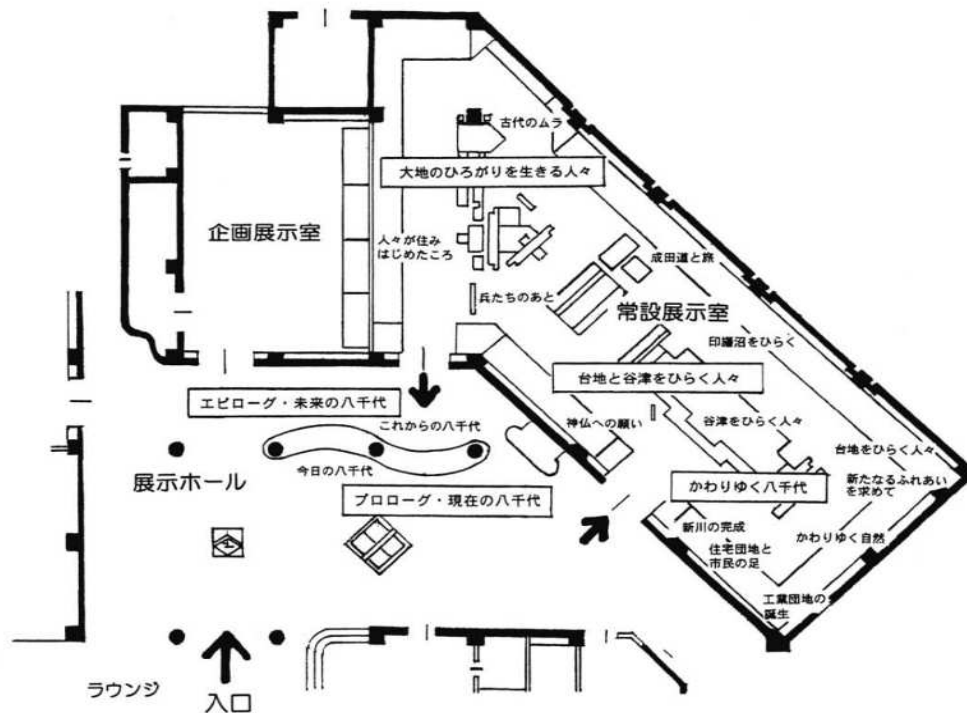


勝田の獅子舞



村上の神楽

3 展示



(1) 常設展示

新川流域を中心とした八千代市の自然・歴史・文化・産業に関して、多くの実物資料・標本・複製等を展示し、私たちが暮らす八千代の姿の一層の理解を図る。

開館以来 30 年以上が経過し、展示構成の基本、そしてそれに基づく展示資料、展示手法などに関して、今日の市民の方々の意識・感性から乖離することから、「展示離れ」の傾向が見られるため、展示更新の実施が求められている。

このため、例年新たな展示パネルへの更新、野外展示の石造物への解説板製作等を行ってきたが、令和 6 年度は常設展に沖塚遺跡の豆知識を、ロビー展示に台秤を追加した。

(2) 企画展示

新たな情報を提供し再度の来館に応えるため、6年度は1回実施した。

企画展

八千代誕生70年・新川開削300年記念企画展「水とともに～睦村の歴史～」

期 間：令和6年7月13日(土)～9月23日(月・祝)

開館日数： 63日

利用者数： 2,489人

今年度は「八千代」という地名が誕生して70年であるとともに、新川の開削（新田開発）を源右衛門が幕府に願い出してから300年という節目の年にあたる。そこで70年前の「八千代」の前身の1つである睦村の歴史について、「水」とのかかわりのなかで垣間見る展示とした。



「水とともに」展示風景

(3) 特別展示

①秋の収蔵品展「祝う心、祈る心—結婚・出産・子の成長—」

期 間：令和6年10月19日(土)～11月17日(日)

開館日数： 26日

利用者数： 1,165人

当館は数多くの資料を収蔵しているが、実際に展示してきたものはごく少数である。

今回は、それら資料を大切に守り伝えてきた所蔵者や旧蔵者の思いを繋ぎ、文化のありようを紹介するため「秋の収蔵品展」を開催した。

具体的には、人生の節目の「祝いごと」について《結婚・出産・子の成長》をテーマに、嫁入り道具や婚礼衣装、七五三の晴れ着など60点あまりを展示。「人が健康に育ち、幸せな人生を送ること」を祈る心を紹介した。



「秋の収蔵品展」 展示風景

②「くらしのうつりかわり展～衣食住と学～」

期 間：令和6年12月14日（土）～2月24日（月・振）

開館日数： 54日

利用者数： 2,506人

小学校3年生の学習单元「くらしのうつりかわり」に対応できるように、昭和30年代頃の生活道具を中心に、当時のくらしのイメージがつかめるよう衣・食・住に分けて展示した。今回の展示では、時代背景がわかる当時の雑誌を用いて、くらしの様子やうつりかわりを紹介した。併せて、教科書や教材などの展示を通して、「学ぶこと」に関わる道具のうつりかわりを展示した。



「くらしのうつりかわり展」展示風景

(4) ロビー展示

① 季節展示

調査から得られた情報や写真等を活用し、市内年中行事を紹介した。

4月 花祭り 5月 端午の節句 6月 時の記念日 7月 七夕

8月 盆行事 9月 獅子舞 10月 神楽 11月 七五三 12月 正月

1月 正月・オビシヤ 2月 オビシヤ・雛祭り 3月 ツジギリ・雛祭り

② 紙芝居展示

八千代市に残る伝説を題材として、八千代市文化伝承館の事業で作成した紙芝居を展示し、市内の伝承文化を紹介した。

4月 『すわり地蔵』 5～6月 『乳清水』

③ 企画展関連「パズルに挑戦」「ぬりえに挑戦」

企画展に関わる写真などをジグソーパズルにし、また、ぬりえを用意し、子ども達にも楽しんでいただけるようにした。

④ ミニ展示

「やち博コレクション」

博物館で日常的に実施している資料収集とそれに伴う調査・研究・修補などの活動を、速報的・簡易的に展示する。6年度は3回開催した。

第1回 上知令の影響

期 間：5月17日（金）～9月23日（月・振）

展示内容：天保14年、幕府老中水野忠邦により、江戸・大阪の十里（約39km）四方を幕府領（天領）とするため発布された上知令。江戸から十里四方の範囲内となる八千代市域において、桑橋村や麦丸村に残された村絵図や村明細帳等の古文書から、上知令の発布によりどのような影響を受けたのか読み解いた。

第2回 やちよを詠む

期 間：10月22日（火）～2月18日（火）

展示内容：明治時代頃から盛んだった市域の俳諧について取り上げ、資料を紹介するとともに、令和6年度に市内に建立された、正岡子規の句碑の写真を展示した。

第3回 昭和30～40年代のごみ箱

期 間：3月11日（火）～令和7年度に継続

展示内容：昭和30～40年代に使用された、コンクリート製ごみ箱を展示した。

⑤同好会連携展示

a) 竹細工作品展

期 間：令和7年3月4日（火）～16日（日）

利用者数：180人

「竹細工同好会」会員の作品の展示に加え、アンケート及び一部の作品の配布を行い「竹細工」の普及を図った。

b) 篆刻作品展

期 間：令和7年3月12日（水）～20日（木・祝）

利用者数：104人

「篆刻同好会」の会員が制作した印章、印影などを展示した。

c) 土器づくり作品展

期 間：令和6年9月29日（日）～10月19日（土）

利用者数：703人

子ども体験教室「土器づくり」の参加者の作品と土器づくり同行会会員の作品を展示した。

⑥ぬりえコーナー

来館者に楽しんでいただけるように、「やっち」の絵のぬりえを用意し、その作品を展示した。11月以降実施

4 学校連携

(1) 小中学校対応

市立の博物館として、学校教育支援の役割は大きく、小学校に出向く出前授業を中心に、見学対応等の様々な事業を行った。

小学校においては、学校授業の進度に応じた出前授業や博物館見学の機会を利用し、3年生は「来館見学」や「昔の道具体験」など、4年生は「郷土の歴史」や「年中行事」など、5年生は「脱穀体験」、6年生は「縄文土器と弥生土器の違い」を博物館所蔵の資料の紹介を通して、学習が深められるように工夫して行っている。

依頼件数は昨年度よりも増加しており、市外からの依頼があったことも大きな成果といえる。一方で、学校担当者が1人のため全てを受けることができない。今後は、学校の要望にできるだけ柔軟に対応していくことが課題である。

令和6年度学校利用合計

54件 3,718人

月	件数	参加者数 (延べ人数)
4月	0	0人
5月	5	126人
6月	9	732人
7月	3	196人
8月	0	0人
9月	0	0人
10月	5	324人
11月	6	563人
12月	4	207人
1月	6	232人
2月	12	913人
3月	5	425人
合計	54	3718人
内訳	職場体験	6 24人
	来館見学	14 839人
	出前授業	34 2855人
	リモート授業	0 0人



来館見学「市のうつりかわり」



出前授業「昔の道具体験」

(2) 博物館教育への協力

学芸員資格取得予定者館務実習受入

博物館実習受入体制が不十分のため今年度の実習はなし。

5 市民学習の支援

(1) 企画展開関連事業

各企画展の開催にあわせ、企画展の趣旨、内容等の理解を深めていただくために、多くの世代に親しんでいただく行事を開催した。

事業名	講師	開催日	参加者
企画展 展示解説会	館職員	7月21日(日) 8月11日(日) 9月8日(日)	29人



企画展展示解説

(2) やちよの民俗行事

正月の注連縄作り等の藁細工を製作している下高野地区在住の方を指導者にお招きし、地域に伝えられている厄災除けのツジギリの一種であるワラヘビを作る講座を開催した。

期 日：令和6年11月23日(土・祝)

講 師：下高野地区 立石輝雄氏

参加者：23人



厄除けのワラヘビづくり

(3) 古文書講座

八千代市内に伝わる古文書を通して、八千代の歴史に親しむ機会を設けることを目的としている。館職員を講師とし、入門・初級・中級の3段階の講座を設定している

事業名		講師	開催日	参加者
古文書講座	入門編（くずし字）（全3回）	館職員	5月12日（日）・26日（日）・6月16日（日）	86人
	初級編（全2回）		11月24日（日）・12月22日（日）	73人
	中級編（全1回）		1月13日（日）	36人
	番外編（全1回）		3月16日（日）	雨天中止

(4) やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度から触れることで、八千代への理解を深めていただくことを趣旨に開講している。

	演 題	講師	開催日	参加者
1	「やちよの弥生時代・古墳時代」	常松 成人	6月23日（日）	39人
2	「江戸時代の睦村域」	野中 政博	8月25日（日）	43人
3	「八千代の神仏～入門編～」	勝見 俊介	11月17日（日）	46人
4	「古代の文字と八千代市」	吉田 赳	2月16日（日）	44人



第1回やち博講座

(5) 博物館上映会

「おしどり家計簿と市政映画」

昭和35年制作の「おしどり家計簿」と昭和45年制作の市政映画「やちよ」を上映した。本年度の焦点として、現在の八千代市村上、当時は千葉県八千代町村上辺田前（へたまえ）地区の移り変わりについて詳しく説明をした。

期日：令和7年1月19日（日） 参加者 13人

(6) 観察会

協力いただいた講師や館職員と共に、八千代市内を巡り、市域の自然や文化財に触れ、学ぶことを目的に開催している。

事業名	講師	開催日	会場	参加者
自然観察会	稲田 晃氏 （八千代市文化財審議会委員）	1月18日（土）	平戸・佐山地区	14人
文化財散歩	館職員	5月19日（日）	大和田新田下区	23人
	館職員	12月1日（日）	大和田地区	23人



自然観察会（東照寺にて）



文化財散歩（大和田新田下区）

(7) 体験講座

外部の専門家や同好会等の会員等が指導者となり、各体験講座を毎年開催している。

事業名	講師	開催日	参加者
篆刻講座 (全2回・1課程)	篆刻同好会	6月8日(土) 6月9日(日)	32人
植物標本づくり講座 (全2回・1課程)	花野会	7月20日(土) 8月18日(日)	17人 15人
竹細工講座	竹細工同好会	12月8日(日)	23人

(8) 子ども講座

事業名	講師	開催日	参加者
昔遊び体験 (けん玉・竹ポックリ)	館職員	5月3日(金・祝)～6日(月・振)	86人
子ども体験教室	館職員	8月3日(土)・9月29日(日) 10月20日(日)・2月9日(日)	79人
博物館シアター	語りの会やちよ	7月28日(日)	46人
竹と遊ぼう	竹細工同好会	3月8日(土)	18人

① 昔遊び体験

② 子ども体験教室

「竹細工づくり体験」、「土器づくり体験」、「昔の道具体験」

③ 博物館シアター

夏休み期間中に、「語りの会やちよ」による昔話・紙芝居の上演



子ども体験教室(竹細工づくり体験)



子ども体験教室(土器づくり体験)

(9) 地域における子どもたちの学習支援

学校だけでなく、八千代市内の学童保育所・社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援を行っている。

合計 11件 564人

	実施日	団体名	内容	参加者
1	7月25日(木)	阿蘇米本学童	紙飛行機づくり	80人
2	7月31日(水)	八千代台東学童	紙飛行機づくり	100人
3	8月1日(木)	勝田台学童	紙飛行機づくり	135人
4	8月6日(火)	勝田台南学童	紙飛行機づくり	48人
5	8月8日(木)	ナナカラ	昔遊び体験	25人
6	8月23日(金)	緑が丘公民館	勾玉づくり	13人
7	10月22日(火)	適応支援センター	勾玉づくり	26人
8	10月29日(火)	適応支援センター	勾玉づくり	22人
9	11月16日(土)	北東自治会	昔遊び体験	66人
10	10月22日(火)	適応支援センター	昔の道具	18人
11	2月19日(水)	村上公民館	紙飛行機づくり	31人

(10) 同好会の育成・連携事業

博物館の体験講座で得た知識や技術をより深めるために同好会が結成され、竹細工同好会、八千代土器づくり同好会、篆刻同好会、古文書同好会の4団体がある。当館はその活動を支援するため、定期的な活動の場を提供するとともに、以下の事業に協力いただいている。

竹細工同好会：竹細工講座（体験講座）、竹細工づくり体験・竹と遊ぼう（子ども講座）、竹細工作品展

八千代土器づくり同好会：土器づくり体験（子ども講座）、土器づくり作品展

篆刻同好会：篆刻講座（体験講座）、篆刻作品展

古文書同好会：館蔵古文書の整理（現在は「尾崎区有文書」の基礎整理）

(11) 講師派遣

各種市民団体・公民館等講師 17件 388人

	期日	内容：テーマ	団体	参加者	会場
1	5月30日(木)	八千代台・緑が丘の文化財	高津公民館	14人	高津公民館
2	7月30日(火)	八千代市の歴史	八千代市教育センター	65人	郷土博物館
3	9月16日(月・祝)	印旛沼西岸域の墨書土器の研究 ～八千代市上谷遺跡を中心に～	八千代栗谷遺跡研究会	22人	郷土博物館
4	9月25日(水)	八千代の中世	八千代台図書館・公民館	23人	八千代台公民館
5	10月16日(水)	八千代の民俗行事～市指定無形民俗文化財～	ふれあい大学24期	22人	郷土博物館
6	10月22日(火)	歴史講座 新川の歴史～江戸時代を中心に～	大和田公民館	15人	大和田公民館
7	10月27日(日)	江戸時代の高津	高津ローズタウン	40人	高津ローズ会館
8	12月14日(土)	八千代の村の教養人	TRC 中央図書館	14人	TRC 中央図書館
9	2月4日(火)	勝田の歴史～三匹獅子舞を中心に～	勝田台公民館	15人	勝田台公民館
10	2月5日(水)	江戸時代の高津新田	八千代台公民館	17人	八千代台公民館

11	2月14日（金）	発掘やちよ 遺跡に学ぶ	生涯学習振興課	27人	生涯学習プラザ
12	2月22日（土）	村上地区の遺跡	興寿会	20人	興和台クラブ ²¹
13	2月27日（木）	八千代台の歴史	東南公民館	22人	東南公民館
14	2月28日（金）	中世の伝承と足跡	生涯学習振興課	27人	生涯学習プラザ
15	3月4日（火）	阿蘇地区に関わる歴史	阿蘇公民館	11人	阿蘇公民館
16	3月9日（日）	市域の土器の歴史と墨書土器	TRC 中央図書館	12人	TRC 中央図書館
17	3月26日（水）	江戸時代における村役人の活躍	生涯学習振興課	22人	生涯学習プラザ

(12) 学習室等の施設利用

学習室・工作室、及び図書資料室等の博物館施設を、博物館事業での利用がない日には、地域の団体等が行う研究会や集会、市民の学習活動等様々な活動に提供した。

稼働日数 203日/303日 67.00%

稼働件数 250件 3,585人

学習室・図書資料室利用状況推移表

年度	開館日数	利用日数	利用日数／開館日数	図書資料室利用者数
令和元年度	278	176	63.31%	48人
令和2年度	252	131	51.98%	27人
令和3年度	305	195	61.02%	56人
令和4年度	305	182	59.67%	46人
令和5年度	305	205	67.21%	52人
令和6年度	303	203	67.00%	91人

(13) 刊行物の作成・配布

令和5年度事業の概要及び人事等の基礎的資料を中心に掲載した館報No.30を作成し、市役所内の関係各機関・八千代市内の小中高校・県内の主要博物館等に案内し、博物館事業を公開するとともに、博物館活動の普及をあわせて行った。

また、例年、各企画展示、「くらしのうつりかわり展」、季節展示の、数ページ程度で簡易な印刷・コピーの展示解説書を作成し、利用者に配布し展示の理解を深めている。

6 地域協働

地域における様々な組織・機関との連携により、効果的な博物館事業の充実を図った。

(1) 大学との連携

『「伝統装束体験」の開催』

東京成徳大学との連携により、所有している資料などをご提供いただき、当館事業の充実化を図っている。

事業名	講師	開催日	参加者
伝統装束体験	東京成徳大学 青柳 隆志氏	令和7年2月1日(土)	22人

(2) 関係機関との連携

公民館との連携事業：6回

図書館との連携事業：2回

7 広報

市役所のホームページ内の一部として、情報発信を継続してゆく。

8 博物館協議会

第1回博物館協議会

期日：令和7年1月21日（火）

- 内容：1 令和5年度事業報告
2 令和6年度事業中間報告
3 令和7年度事業計画案
4 令和6年度特別展示視察

9 令和6年度のまとめ（自己評価）

令和6年度は、団体利用者を含む年間利用者数が、前年度を上回る結果となった。

その中でも、地域の各分野に係る資料収集や、主に虫害に対する保存対策、収蔵庫や展示室の温湿度管理、古文書等の修補、収蔵システムへの登録作業等、博物館業務の基本的事項については、例年通り行うことができた。

常設展示に関しては、沖塚遺跡の配布資料を追加することで、同遺跡への理解を深めるのに役立てることができた。また、台秤を展示したことで体験学習などへの活用が可能となった。6年度は少数の更新にとどまったが、今後も適切な資料の追加などを検討していきたい。

企画展示は、八千代誕生70年・新川開削300年の記念展示として、睦村における「水」との関わりをテーマに幅広い資料を紹介することができた。特別展示としては、「秋の収蔵品展」としてこれまで公開できていなかった資料を中心に展示することができた。毎年実施している「くらしのうつりかわり展」は、「衣食住と学」をサブタイトルとして、恒例の「衣食住」に加えて学校教育に関わる資料を紹介した。今後も魅力あるテーマを探求し、紹介できるよう努めたい。

子どもから成人に向けた講演会、体験講座、現地見学等の市民学習の支援は、安全対策を講じて事業運営に努めた。毎年楽しみにしている市民の方々もいるので、参加者の意見やアンケートなどを参考にしながら改善をしていきたい。

学校教育への支援・連携は、依頼された件数が増加傾向となった。参加者も前年度に比べて約2割増である。しかし、学校担当の館職員が1人での対応となったために、学校側の要望に柔軟に対応することが難しく、何件か出前の依頼を断ることもあった。一方で、学校だけでなく八千代市内の学童保育所や社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援も行っているが、こちらは依頼件数がやや減少した。また、学童によっては、1件当たりの人数が多い時もあるので、学校担当の館職員1人だけでは、難しいと感じることもあった。今後も博学連携の視点から努力していきたい。

各種市民団体・公民館等に講師として依頼される件数は昨年度とあまりかわらないが、1回あたりの講座参加人数が増えているため、参加者数は、昨年度より増加となった。引き続き依頼があれば、内容やテーマに沿って支援していきたい。

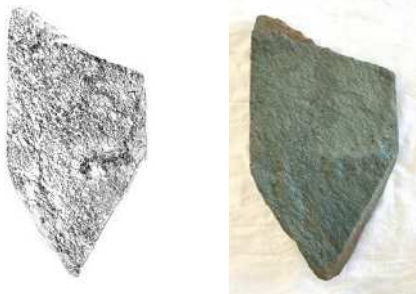
改正された博物館法には、他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力の向上への寄与が努力義務化されている。本館はそのことを意識し、博物館の使命や改正博物館法などを根拠に、館運営事業のあり方を今後も検討していきたい。

VI 付編 市指定文化財 長福寺の板碑一括 調査票

- 1 八千代市立郷土博物館が令和6年度資料調査事業として実施した，八千代市指定文化財「長福寺の板碑一括」の調査票である。
- 2 「長福寺の板碑一括」は，八千代市米本1587に所在する宗教法人長福寺（代表役員 吉村利行住職）が所有するものである。
- 3 「長福寺の板碑一括」は，有形民俗文化財として，昭和56年(1981)12月21日に指定された。指定書の番号は民15号である。
- 4 調査及び整理は，令和7年2月28日～3月28日に実施した。
- 5 表中，「市史No.」とは，八千代市史編さん委員会編『八千代市の歴史 資料編 原始・古代・中世』（1991）に掲載された番号である。
- 6 同じく「縣史料No.」は，『千葉縣史料 金石文篇二』（1978）に掲載された番号である。
- 7 『八千代市の歴史 資料編 原始・古代・中世』に取り上げられていない板碑には，101 から新No. を付けた。この中で101と118が有刻であることを今回の調査で確認した。
- 8 調査に際し下記の機関，諸氏にご協力をいただきました。記して謝意を表します。
宗教法人長福寺 代表役員吉村利行氏
八千代市郷土歴史研究会（菅原哲夫氏 菅原賢男氏 瀬川尚子氏 畠山 隆氏 松柴慎吾氏 蔵 由美氏）

長福寺の板碑一括 拓影と写真

No.	市史No.	歴史科No.	部位・状態	種子	西暦	紀年銘	銘文等	高 (cm)	幅 (cm)	最大厚 (cm)	備考	
1	T 1	300	下部欠損	現状では(蓮座)	1467	(文正二年)		31.0	12.5	2.0		
2	T 2	301	完形	キリーク(蓮座)	1484	文明十六年		48.2	13.2	2.2	博物館が借用し常設展示 博物館登録A619	
												T1
												T2
3	T 3	302		キリーク(蓮座)		文明		17.8	12.4	1.5	(裏面に墨書注記)	
4	T 4	303	頂部	キリーク(蓮座)		延(徳)		27.5	16.5	2.0	(裏面に墨書注記)	
												T3
												T3裏面
												T4
												T4裏面
5	T 5	304	完形	キリーク(蓮座)	1495	明應四年	(花瓶)	54.0	16.5	2.5	裏面に押し削り痕	
6	T 7	306	頂部欠	キリーク(蓮座)	1497	明應六年	(花瓶)	35.3	13.0	2.0	縣史料ではキリーク無し	
												T5
												T5裏面
												T7

No.	市史No.	郷史料No.	部位・状態	種子	西暦	紀年銘	銘文等	高	幅	最大厚	備考
7	T 8	307	頂部欠	キリーク(蓮座)	1497	明應六年	(花瓶)	38.0	16.0	2.0	郷史料ではキリーク無し
8	T 9	308	頂部欠		1503	文亀三年		37.4	17.3	2.5	
											
T8							T9				
9	T 12	311	完形	キリーク(蓮座)	1511	永正八年	(花瓶)	50.8	17.2	2.2	(裏面に墨書注記)
10	T 13	312	完形	キリーク(蓮座)	1512	永正九年		48.8	14.5	1.8	銘文見えない。
											
T12							T13				
11	T 15	314		キリーク(蓮座)・サ・サク		享禄	月	33.5	18.2	2.5	裏面に押し削り痕 (裏面に墨書注記)
12	T 16	315		キリーク(蓮座)・サ		建		27.5	24.6	3.0	2点接合。裏面に押し削り痕
											
T15							T15裏面				
											
T16							T16裏面				

No.	市史No.	歴史科No.	部位・状態	種子	西暦	紀年銘	銘文等	高	幅	最大厚	備考
13	T 17			キリーク(蓮座)・サ				20.4	15.0	2.5	ク点の欠落。裏面に押し削り痕
14	T 18		頂部付近	キリーク			(枠線)	12.3	15.3	2.0	
15	T 19		頂部付近	キリーク			(二条線)	29.0	25.0	3.0	裏面に押し削り痕

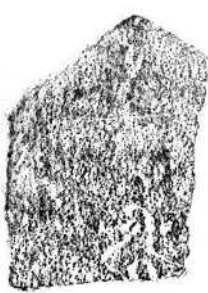

T17


T17裏面

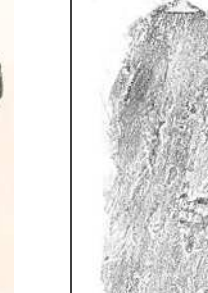

T18


T18裏面

No.	新No.	部位・状態	種子	西暦	紀年銘	銘文等	高	幅	最大厚	備考
16	101	頂部	キリーク			(枠線)	15.0	9.0	1.5	
17	102	完形					41.6	12.5	1.5	裏面に押し削り痕


101


102

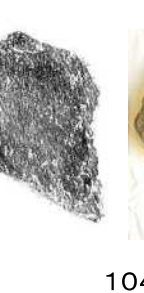

102裏面

18	103	基部欠					49.0	22.0	2.0	
19	104	頂部					23.0	15.5	1.6	
20	105	頂部付近					12.4	18.5	2.3	


103

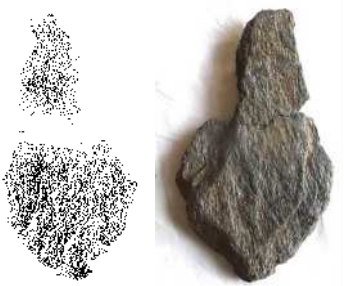
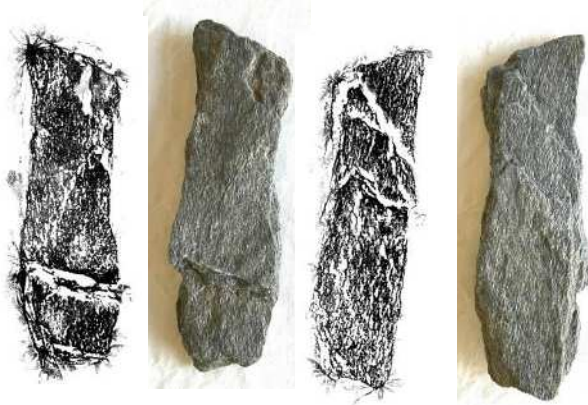
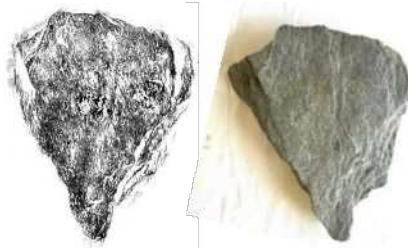
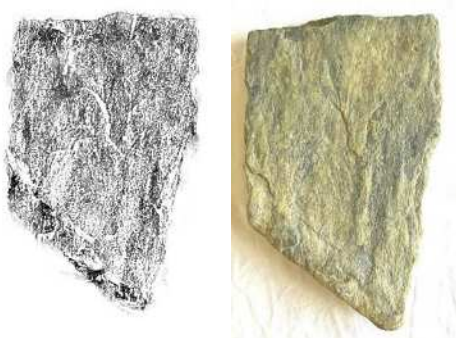
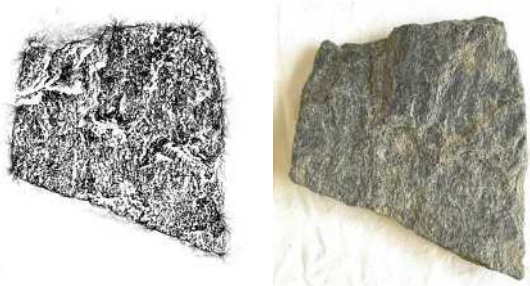

104

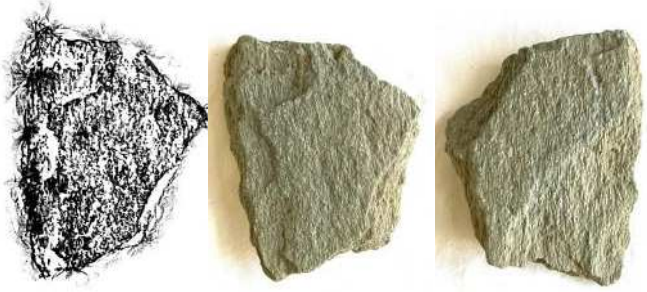
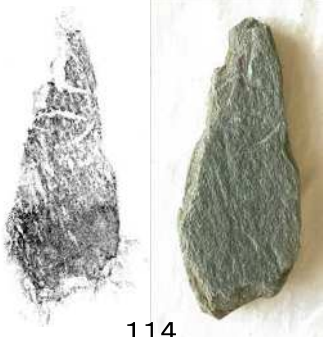
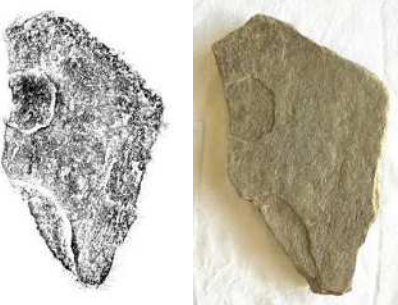
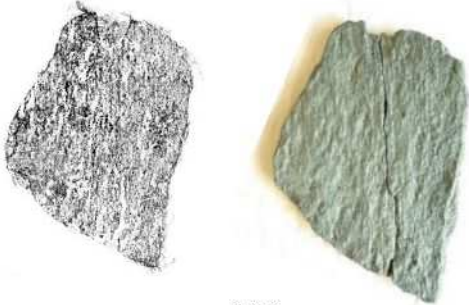
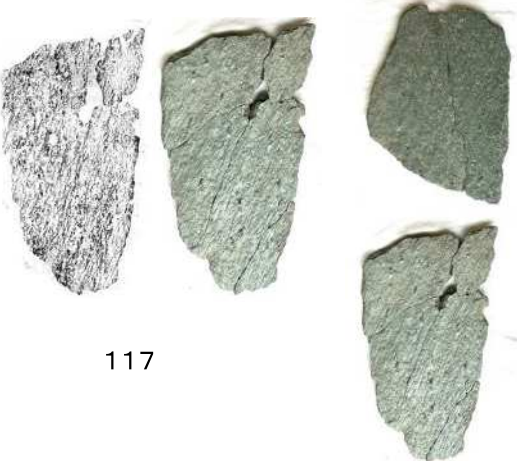
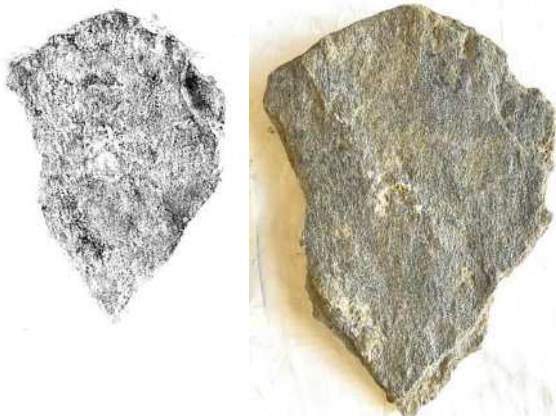

105

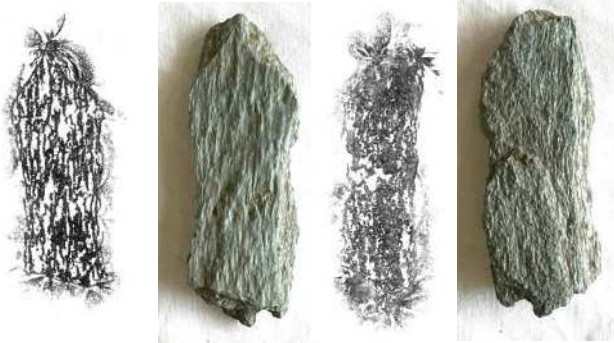
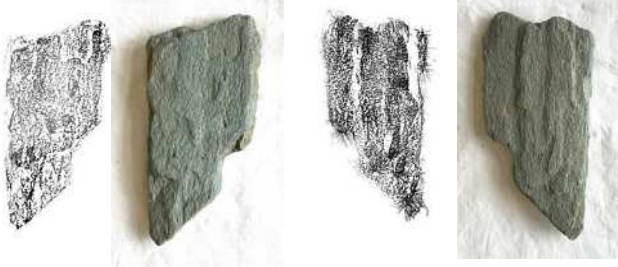
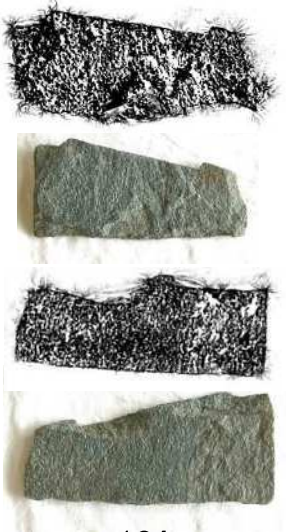

103裏面

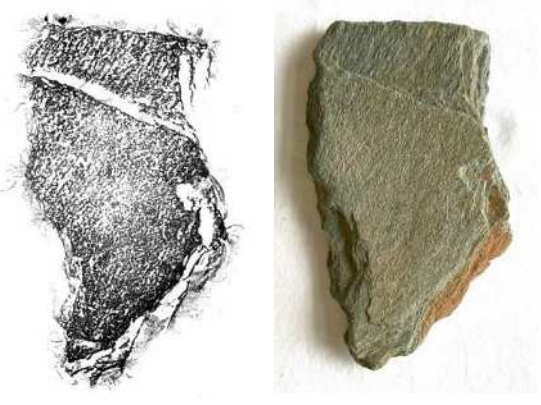
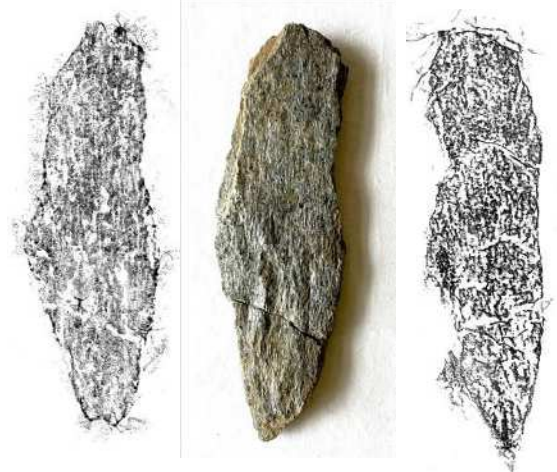
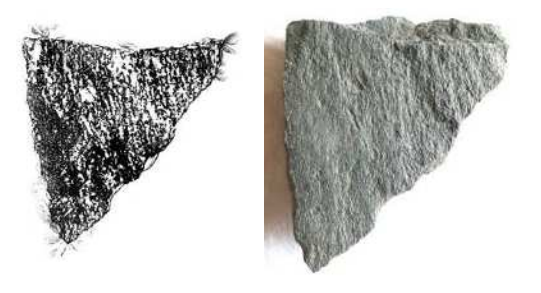
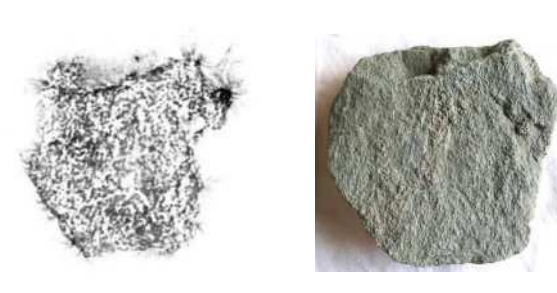

104裏面


105裏面

No.	新No.	部位・状態	種子				高	幅	最大厚	備考
21	106	基部か					16.0	13.5	2.5	2点接合。
22	107	基部か					21.5	16.0	2.5	
23	108	基部か					28.0	19.0	3.0	
										
106			107			108				
24	109						20.5	6.0	2.0	
25	110	基部					22.0	17.0	3.0	
										
109			110							
26	111	基部					31.0	17.0	3.0	
27	112						21.5	16.5	2.5	
										
111			112							

No.	新No.	部位・状態	種子				高	幅	最大厚	備考
28	113						14.5	10.2	2.2	
29	114						16.7	6.0	2.0	
 113							 114			
30	115	頂部					23.0	11.8	2.3	
31	116						26.8	18.9	1.9	2点接合。
 115							 116			
32	117						34.0	16.2	1.8	5点接合。
33	118	頂部	キリーク(蓮座)				35.5	21.0	2.5	
 117							 118			
116・117同一か										

No.	新No.	部位・状態		高	幅	最大厚	備考
34	119			34.5	21.5	2.5	
35	120			11.6	3.7	1.5	
 119				 120			
36	121			5.5	10.5	0.6	
37	122	基部分		19.5	8.5	1.5	
 121				 122			
38	123			11.5	10.8	1.3	
39	124			8.9	17.0	1.8	
 123				 124			

No.	新No.	部位・状態		高	幅	最大厚	備考
40	125			17.5	9.0	1.7	
41	126			19.0	5.5	1.4	2点接合。
 125				 126			
42	127			13.0	10.0	2.2	
43	128			11.5	9.8	2.4	
 127				 128			
44	129			16.4	8.4	2.8	雲母片岩か。
45	130			9.0	11.8	2.9	雲母片岩か。
 129				 130			

【統計資料・関連条例等】

1 博物館利用者数の推移

年 度	開館日	利用者数	うち団体利用者	備 考
平成 21 年度	2 9 0	1 4, 0 9 3	7, 0 1 2	
平成 22 年度	2 8 6	1 3, 9 8 7	8, 1 4 9	
平成 23 年度	2 9 2	1 6, 1 6 5	1 1, 2 9 3	
平成 24 年度	2 9 9	1 8, 4 0 7	1 2, 9 6 3	
平成 25 年度	3 0 3	2 8, 7 3 3	2 0, 2 5 7	
平成 26 年度	3 0 4	2 7, 7 5 8	1 9, 7 3 7	
平成 27 年度	3 0 6	2 9, 2 9 0	2 0, 1 9 5	
平成 28 年度	3 0 5	2 3, 0 9 7	1 6, 3 0 7	
平成 29 年度	3 0 4	2 5, 1 4 1	1 5, 6 7 0	
平成 30 年度	3 0 4	2 4, 1 5 8	1 4, 5 5 1	
令和元年度	2 7 8	2 1, 5 9 9	1 3, 3 5 5	
令和 2 年度	2 5 2	1 3, 5 9 9	8, 8 0 2	
令和 3 年度	3 0 5	1 7, 0 8 4	1 0, 8 2 0	
令和 4 年度	3 0 5	1 3, 7 6 0	7, 9 1 6	
令和 5 年度	3 0 5	1 2, 2 3 4	6, 6 3 4	
令和 6 年度	3 0 3	1 2, 8 3 0	7, 3 1 3	

2 令和 6 年度 団体・個人別利用者数

	開館 日数(日)	大人			子ども			月合計 (人)
		個人(人)	団体(人)	計	個人(人)	団体(人)	計	
4 月	25	227	308	535	53	11	64	599
5 月	27	385	156	541	87	141	228	769
6 月	26	367	252	619	35	698	733	1,352
7 月	26	330	382	712	117	372	489	1,201
8 月	27	469	231	700	105	244	349	1,049
9 月	25	389	355	744	49	7	56	800
10 月	27	352	323	675	61	314	375	1,050
11 月	26	401	194	595	43	649	692	1,287
12 月	21	218	165	383	46	253	299	682
1 月	23	314	217	531	49	226	275	806
2 月	24	475	394	869	94	747	841	1,710
3 月	26	740	255	995	111	419	530	1,525
総計(人)	303	4,667	3,232	7,899	850	4,081	4,931	12,830
割合(%)	—	36%	25%	62%	7%	32%	38%	—

3 令和6年度 博物館利用者アンケート集計結果

(回答者 38 人)

住所	
市内	21
県内	15
県外	2
国外	0
未記入	0
来館目的（複数回答あり）	
常設展	29
企画展	8
講演会	0
学習室	0
図書室	1
その他	8
未記入	0

年齢	
就学前	0
小学生	5
中学生	4
10代	8
20代	4
30代	2
40代	1
50代	7
60代	4
70代以上	3
未記入	0

来館回数	
初	25
2～10	11
11～	2
未記入	0
知る方法（複数回答あり）	
広報	3
HP	6
ポスター等	3
新聞	0
以前から	13
その他	14
未記入	1

主なご意見・ご要望（原文のとおり）

- *子供が行っても、興味が持てる博物館。触って楽しめるようなものがあると good。[市内 40 代]
- *本館の展示は大変まじめで、よく考えられたコンセプト（どの時代で何を見せるのか）の元、分かりやすい展示だと思います。ただ、縄文土器の形式名（加曽利 B1 など）が、一切なかった（パネルに 2 つあったが）のが大変残念です。土器キャプチャに追加して欲しいです。[東京都 60 代]
- *立体的に歴史を学べる、図書室も使いたくなる素晴らしい博物館だと思います。どうもありがとうございました。[船橋市 50 代]
- *村上駅からの道案内が少なく住民の方に教えていただくことに… [船橋市 50 代]
- *もうちょっとはにわみてみたいです。[大和田新田 中学生]
- *八千代にこんなおもしろい博物館があるとは知らなかったもので、とても楽しめました！ [船橋市 20 代]
- *じっさいにさわって楽しめる博物館。色々な事をたいげんできる。[八千代台東 中学生]
- *入場無料で見ていいボリュームじゃない!!楽しかったです。[市内 30 代]
- *よく展示されていると思う。製作者の工夫、努力大。幼少時の農機具や炊事道具、電化製品をみてなつかしかった。今の人はこんなもの知らないだろうな。因みにアメリカやカナダの地方都市にも開拓時代の農機具や生活用品の展示博物館がある。[市内 70 代]
- *もっと昔の道具（くらしの道具）をふやしてほしい。[緑が丘西 小学生]

希望される企画（原文のとおり）

- *二次大戦中の八千代 [神奈川県 20 代]
- *近代の発展の様子 [船橋市 10 代]
- *印旛沼の開拓と八千代 [市内 70 代]
- *大和田の旅籠のまどり、食事、宿料などの詳細。[市内 70 代]
- *成田山から見た八千代 [八千代台北 50 代]
- *京成バラ園のおひざ元なので、新旧のバラの種研究者のお話や展示があると嬉しいです。[船橋市 50 代]
- *はにわ・自然 [ゆりのき台 中学生]

4 令和6年度 企画展アンケート集計結果

(比率は小数点以下を四捨五入した値)

企画展名		企画展 「水とともに ー睦村の歴史ー」		秋の収蔵品展 「祝う心、祈る心」		「くらしのうつりかわ り展 ー衣食住と学ー」	
開催日数		63 日		26 日		54 日	
回答者数		55 人		59 人		54 人	
		人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)
住所	市内	37	67	37	63	39	72
	県内	16	29	17	29	11	20
	県外	1	2	4	7	0	0
	海外	1	2	0	0	1	2
	未記入	0	0	1	2	3	6
年齢	就学前	1	2	1	2	0	0
	小学生	10	18	3	5	20	37
	中学生	1	2	0	0	2	4
	10 代	0	0	0	0	1	2
	20 代	3	5	3	5	5	9
	30 代	6	11	2	3	5	9
	40 代	5	9	5	8	6	11
	50 代	11	20	4	7	6	11
	60 代	7	13	20	34	7	13
	70 代以上	10	18	20	34	1	2
	未記入	1	2	1	2	1	2
来館 回数	初めて	14	25	23	39	30	56
	2回目	7	13	1	2	7	13
	3回目	5	9	3	5	5	9
	4回目以上	28	51	32	54	11	20
	未記入	1	2	0	0	1	2
前回 来館	1～2年前	20	36	21	36	14	26
	3～4年前	14	25	9	15	3	6
	5年以上前	4	7	3	5	1	2
	その他	3	5	3	5	4	7
	未記入	14	25	23	39	32	59
周知	知っていた	38	69	44	75	28	52
	知らなかった	13	24	12	20	25	46
	未記入	4	7	3	5	1	2
周知 媒体 複数回答	新聞	0	0	0	0	0	0
	雑誌	0	0	0	0	0	0
	テレビ	0	0	0	0	0	0
	ラジオ	0	0	1	2	0	0
	ポスター	6	10	4	6	10	17
	チラシ	8	13	16	24	9	15
	インターネット	11	18	4	6	2	3
	行事案内	0	0	1	2	1	2

	広報やちよ	5	8	5	8	2	3
	以前来館	6	10	1	2	3	5
	先生・知人	4	7	13	20	4	7
	その他	4	7	7	11	3	5
	未記入	16	27	14	21	26	43
テーマ	とても良い	27	49	45	76	37	69
	良い	23	42	14	24	13	24
	普通	4	7	0	0	3	6
	つまらない	0	0	0	0	0	0
	とてもつまらない	0	0	0	0	0	0
	未記入	1	2	0	0	1	2
難易度	難しすぎる	3	5	0	0	2	4
	難しい	7	13	2	3	3	6
	ちょうど良い	42	76	51	86	43	80
	やさしい	2	4	6	10	5	9
	やさしすぎる	0	0	0	0	0	0
	未記入	1	2	0	0	1	2
感想	非常に満足	14	25	22	37	25	46
	満足	32	58	29	49	25	46
	普通	4	7	2	3	4	7
	不満	1	2	0	0	0	0
	非常に不満	2	4	0	0	0	0
	未記入	2	4	6	10	0	0
紹介	したい	46	84	45	76	42	78
	しない	6	11	5	8	6	11
	未記入	3	5	9	15	6	11
照明	明るすぎる	0	0	0	0	0	0
	暗すぎる	4	7	4	7	4	7
	ちょうど良い	48	87	47	80	47	87
	未記入	3	5	8	14	3	6
文字の大きさ	大きすぎる	1	2	1	2	1	2
	小さすぎる	6	11	4	7	3	6
	ちょうど良い	43	78	45	76	47	87
	未記入	5	9	9	15	3	6

5 条例・規則

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例

平成 12 年 3 月 24 日

条例第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 市は、歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館資料」という。)を調査研究し、収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、その教育、学術及び文化の発展に寄与するため、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 3 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
八千代市立郷土博物館	八千代市村上 1,170 番地 2

(事業)

第 4 条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (4) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校及び学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他博物館の目的を達成するために必要な事業

(職員)

第 5 条 博物館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第 6 条 八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

(損害の賠償)

第 7 条 博物館の施設、設備及び博物館資料に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会)

第 8 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 23 条第 1 項の規定により、博物館に八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。)を置く。

2 博物館協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

- 3 委員の定数は、5 人以内とする。
- 4 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。

(令5条例10・一部改正)

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例(平成5年八千代市条例第3号)は、廃止する。

附則(令和5年条例第10号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成12年3月28日

教委規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成12年八千代市条例第6号。以下「条例」という。)第9条の規定により、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、その翌日以後の最初の休日でない日)
- (2) 12月26日から翌年の1月4日までの日

(平24教委規則6・一部改正)

(職員の職及び職務)

第4条 条例第5条の規定により博物館に置かれる職員は、事務職員とし、その職及び職務は、次表のとおりとする。

職員	職	職務
事務職員	補佐	館長の職務を補佐する。
	副主幹	上司の命を受け、その担当事務を処理する。
	主査	上司の命を受け、その担当事務を処理する。

主査補	上司の命を受け、事務に従事する。
主任主事	上司の命を受け、事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。
主事	上司の命を受け、事務に従事する。
学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。

(平 13 教委規則 7・平 18 教委規則 3・平 20 教委規則 7・一部改正)

(禁止行為)

第 5 条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく展示品を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で飲食すること。
- (4) その他他の入館者の迷惑になるような行為をすること。

(令元年教委規則 3・一部改正)

(喫煙の禁止)

第 6 条 何人も、博物館において、喫煙をしてはならない。

(令元年教委規則 3・追加)

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項については、教育委員会が別に定める。

(令元年教委規則 3・旧第 6 条繰下)

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則(平成 5 年八千代市教委規則第 3 号)は、廃止する。

附則(平成 13 年教委規則第 7 号)

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 18 年教委規則第 3 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 20 年教委規則第 7 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 24 年教委規則第 6 号)

この規則は、平成 24 年 9 月 1 日から施行する。

附則(令和元年教委規則第 3 号)

この規則は、公布の日から施行する。

○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程

平成 12 年 3 月 28 日

教委訓令甲第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この訓令は、八千代市立郷土博物館に勤務する職員(以下「職員」という。)の勤務時間、勤務を要しない日及び休憩時間(以下「勤務時間等」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(平 20 教委訓令甲 3・一部改正)

(勤務時間)

第 2 条 職員(地方公務員法(昭和 25 年法律第 261 号)第 22 条の 4 第 1 項又は第 22 条の 5 第 1 項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員(以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。))及び八千代市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例(平成 27 年八千代市条例第 35 号)第 4 条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員(以下「任期付短時間勤務職員」という。))を除く。)の勤務時間は、1 日につき 7 時間 45 分とし、かつ、4 週間を平均して 1 週間について 38 時間 45 分とする。

2 定年前再任用短時間勤務職員の勤務時間は、1 日につき 7 時間 45 分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4 週間を平均して 1 週間について 15 時間 30 分から 31 時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

3 任期付短時間勤務職員の勤務時間は、1 日につき 7 時間 45 分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4 週間を平均して 1 週間について 31 時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

(平 14 教委訓令甲 2・平 17 教委訓令甲 1・平 28 教委訓令甲 1・令 5 教委訓令甲 1・一部改正)

(勤務を要しない日)

第 3 条 職員の勤務を要しない日は、4 週間について 8 日(定年前再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員にあっては、8 日以上)の割合で館長があらかじめ職員ごとに指定する日とする。

(平 14 教委訓令甲 2・平 17 教委訓令甲 1・平 24 教委訓令甲 3・平 28 教委訓令甲 1・令 5 教委訓令甲 1・一部改正)

(休憩時間)

第 4 条 職員の休憩時間は、1 日の勤務時間が 6 時間を超える場合においては、1 時間を当該勤務時間の途中に置くものとする。

(平 22 教委訓令甲 1・一部改正)

(勤務時間等の割り振り)

第 5 条 勤務時間等の割り振りは、館長が業務の状況に応じて月ごとに定め、あらかじめ職員に示すものとする。

(平 20 教委訓令甲 3・旧第 6 条繰上)

(勤務時間等の割り振りの変更)

第 6 条 館長は、勤務上特に必要があると認めるときは、前条の規定により定めた勤務時間等の割り振りを変更することができる。この場合において、館長は、当該変更について速やかに関係職員に示さなければならない。

(平 20 教委訓令甲 3・旧第 7 条繰上)

附則

(施行期日)

1 この訓令は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程(平成 5 年八千代市教委訓令甲第 8 号)は、廃止する。

附則(平成 14 年教委訓令甲第 2 号)抄

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成 17 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成 20 年教委訓令甲第 3 号)

この訓令は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 22 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 24 年教委訓令甲第 3 号)

この訓令は、平成 24 年 9 月 1 日から施行する。

附則(平成 28 年教委訓令甲第 1 号)

この訓令は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附則(令和 5 年教委訓令甲第 1 号)

(施行期日)

1 この訓令は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 暫定再任用短時間勤務職員(地方公務員法の一部を改正する法律(令和 3 年法律第 63 号)附則第 6 条第 1 項若しくは第 2 項又は第 7 条第 1 項若しくは第 3 項の規定により採用された職員をいう。)は、定年前再任用短時間勤務職員(地方公務員法(昭和 25 年法律第 261 号)第 22 条の 4 第 1 項又は第 22 条の 5 第 1 項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員をいう。)とみなして、第 1 条の規定による改正後の八千代市立公民館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条、第 2 条の規定による改正後の八千代市立小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 3 項並びに第 3 条第 1 項、第 3 条の規定による改正後の八千代市立図書館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条、第 4 条の規定による改正後の八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条、第 5 条の規定による改正後の八千代市総合生涯学習プラザに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条、第 6 条の規定による改正後の八千代市八千代台東南公共センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条並びに第 7 条の規定による改正後の八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第 2 条第 1 項及び第 2 項並びに第 3 条の規定を適用する。

○八千代市立郷土博物館協議会運営規則

平成 12 年 5 月 31 日
教委規則第 8 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成 12 年八千代市条例第 6 号)第 8 条第 1 項に規定する八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長及び副委員長)

第 2 条 博物館協議会に委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、博物館協議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 3 条 博物館協議会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第 4 条 博物館協議会の庶務は、八千代市立郷土博物館において処理する。

(補則)

第 5 条 この規則に定めるもののほか、博物館協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が博物館協議会に諮って定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

八千代市立郷土博物館

館報

No.31

(令和 6 年度)

発行日 令和 7 年 7 月 31 日

発行・編集 八千代市立郷土博物館